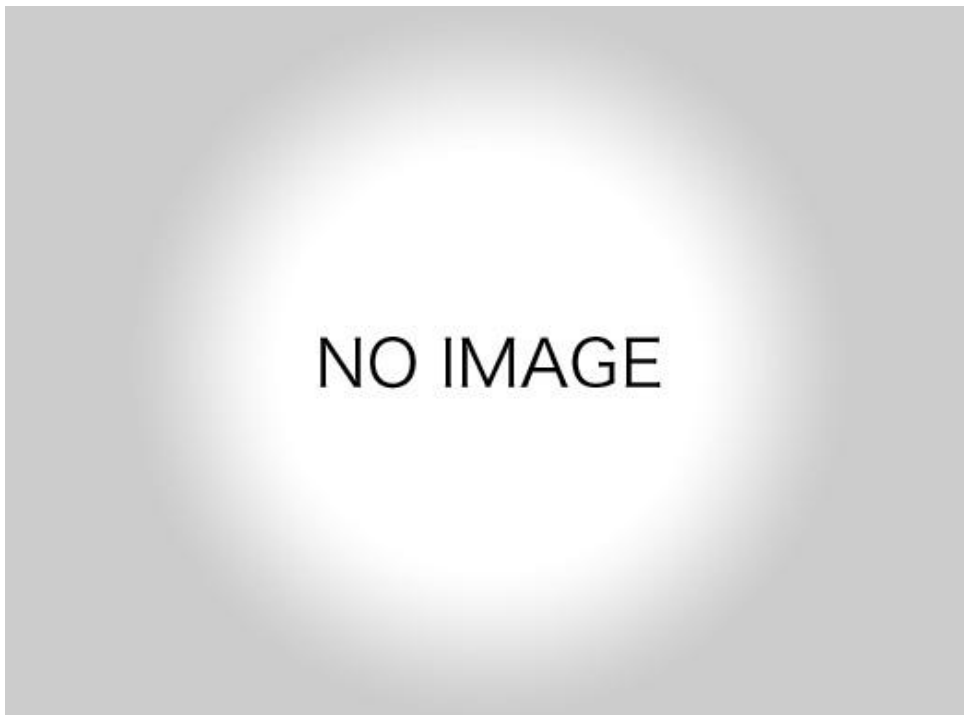


ツマグロキチョウ

| | | |
|-------|---------------------------------|------------|
| 学名 | Eurema laeta betheseba (Janson) | |
| 目名 | チョウ目 | |
| 目名学名 | LEPIDOPTERA | |
| 科名 | シロチョウ科 | |
| 科名学名 | Pieridae | |
| カテゴリー | 大分県：準(NT) | 環境省：Ⅱ (VU) |



【選定理由】

従来は普遍的な種とされていたが、最近10数年、急激に個体数が減少し、全国的に絶滅が危惧されている。県内でも安定した生息地は少なくなった。

| | |
|-------|---|
| 県内分布 | ほぼ県内全域 |
| 分布域 | 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 南西諸島 |
| 世界的分布 | 朝鮮半島, 中国, 台湾 |
| 生息環境 | 河川敷, 堤防の草地や荒地。カラケツメイを食草とする。 |
| 現状 | 河川改修工事, 草地の開発等により, 発生数が減少している所がある。 |
| 備考 | |